



# Let's Recycle!

## むさしむらやま Vol. 14

平成22年1月発行

発行／武蔵村山市市民生活部環境課ごみ対策グループ TEL 042-565-1111(内293)  
 ホームページ／<http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/> FAX 042-563-0803

### 3Rを実践しよう!

現在、武蔵村山市では、燃やせるごみは焼却灰をエコセメントとしており、燃やせないごみは細かく砕いて埋め立てており、容器包装プラスチックやペットボトルのように資源化できるものは資源化処理をしています。これらの処理にはたくさんのお金がかかり、二酸化炭素も排出され、埋め立てることができる量にも限りがあります。そこで、みなさんには、ごみになる物も、資源となる物も、もともと減らすようにしてもらいたいと考えています。そのためには、次のような3R（スリーアール）に取り組むことが必要となってきます。



#### 優先順位1 Reduce(リデュース)《発生抑制》

- ゴミになる物を買わない、もらわない。
- 長く使える製品を買う。

#### 優先順位2 Reuse(リユース)《再使用》

- リターナブル容器（ビールビンのように販売店で回収し、専門業者で洗って再使用する容器）の物を買う。
- リサイクルショップを利用する。

#### 優先順位3 Recycle(リサイクル)《再生利用》

- 資源として分別する。
- リサイクルされた製品を使う。

## **Reduce(リデュース)／発生抑制**

ゴミを減らす一番大切なことは、「ゴミを出さない」です。ゴミとして捨てるものを減らし、少しでもゴミ減量を心がけましょう。

### **実践してみましよう！**

- ◆レジ袋を断って、マイバッグでの買い物を心がけましょう。
- ◆シャンプーなどは詰替え用を選びましょう。
- ◆パック詰めよりバラ売りを選びましょう。
- ◆物は修理しながら大事に長く使いましょう。
- ◆エコクッキングを心がけましょう。（野菜などは、きれいに洗い皮ごと調理）
- ◆過剰包装を断りましょう。

## **Reuse(リユース)／再使用**

いらなくなったからと捨ててしまう前に、何か他に使えないか考えてみましょう。自分ではもういらなくなったと思っても、他に必要としている人がいることもあります。

### **実践してみましよう！**

- ◆ビールビン、牛乳ビン、酒ビンなどは、繰り返し使うことができる容器（リターナブル器）を選びましょう。
- ◆ほしい人がいれば譲りましょう。
- ◆別の物に作り変えて（リフォーム）みましょう。
- ◆フリーマーケットやリサイクルショップを活用しましょう。

## **Recycle(リサイクル)／再生利用**

リサイクルの意味は「不要になった物を原料に戻し、新しい製品として再び使用すること」ですが、リサイクルには費用がかかりますし、そのための資源も必要になります。まずは、リデュース（ゴミを減らす）、リユース（繰り返し使う）を心がけ、最後にリサイクルしましょう。

### **実践してみましよう！**

- ◆地域の集団回収やスーパーなどの拠点回収に協力しましょう。
  - ◆市の分別収集に協力しましょう。
  - ◆リサイクルされた商品を積極的に使いましょう。
- ※リサイクルするためには、ルールを守り分別を行うことが大切となりますので、協力をお願いいたします。

生ごみ堆肥化モデル事業がスタートしました。  
平成18年発行第10号のリサイクル情報誌で紹介した、武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会から平成20年12月に「生ごみの堆肥化に係るモデル事業の実施について」の報告書がまとめられ、これを基に、事業実施について検討し、平成21年10月1日から「生ごみ堆肥化モデル事業」をスタートしました。

参加世帯から出されたバケツ



収集の様子



収集した生ごみを1つの容器にまとめたところ



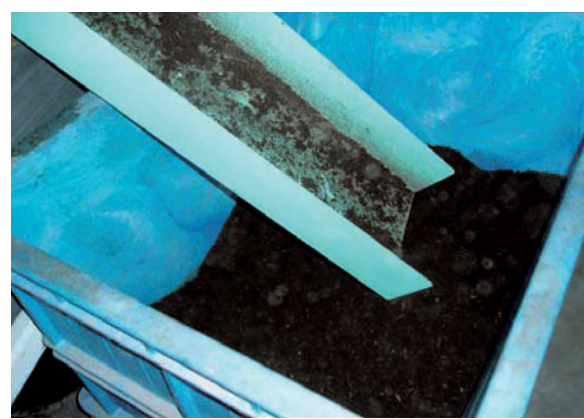
収集した生ごみと混ぜ合わせる剪定枝を細かくしたのも



収集した生ごみと混ぜ合わせて処理する機械



処理したものが排出されているところ



## プラスチック・ペットボトルの出し方の再確認！



中身は使い切り、汚れは軽く水で流して、水分を切ってください。



ペットボトルのフタは、必ず取り出してください。



プラマーク付でも、出せない物があります。写真のように、汚れている「袋類」・「フィルム類」・「チューブ類」は「燃やせるごみ」に出してください。

プラスチック・ペットボトルの収集日に回収された、ペットボトルの中に異物（カミソリ・注射器・注射針・乾電池）の混入がありました。

**ペットボトル・プラスチック製容器包装製品は汚れや、異物の混入によって変色をおこすとリサイクルできなくなりますので、容器等の中に異物は混入しないでください！！**

容器等は洗浄し汚れを取り除き、ごみは正しく分別して、決められた日に出してください。